

# 道連ニュース

2009年10月号 No.40

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

道連  
報告

## 2010年度も特別会費を適用します 第3回理事会で決定

当会は第3回理事会を10月1日に開催し、一般報告、8月決算報告、8月くらしの相談室などの報告を承認しました。また、日本生協連北海道・東北地連報告を確認し、その後、「消費者支援ネット北海道への特別会費の拠出（限度150万円）」「北海道労働金庫への出資金の減資と出資枠のコープさっぽろへの譲渡」「行政・生協連絡会議、ユニセフ担当者交流会、非常勤監事研修会、消費者問題連続学習会などの開催」の議案を議決して終了しました。

労金出資金の減資は、当会の会費について特別会費を2010年度まで1年間延長することにし、その結果手元資金が不足となるので関係団体出資金の1部を現金化するというものです。ホクネットへの特別会費の拠出は、適格消費者団体認証を申請するについて200万円を超える積立金を求められますので、その特別会費募集に協力するものです。

最後に、理事・監事生協の「上半期の事業概況」の報告と交流をしました。

## 2009年度北海道・東北地区「行政・生協連絡会議」開催

北海道・東北地区の持ち回りで開催している「行政・生協連絡会議」は北海道の当番県となり、10月22・23の両日、札幌市内で開催しました。

この連絡会議は「生協所轄の県行政担当と各県生協連の役員とが、情報交換の上、連携を深め、組合員・県民の暮らしと地域社会に一層約立つ」ことを目的に開催、生協側（日本生協連、同地連、各県連）23名、道県側11名の合計34名の参加でした。



1日目の事例報告は日生協からの「生協の福祉活動」です

今年の連絡会議は盛り沢山で、まず、「さっぽろ高齢者福祉生協」の2つの施設を見学しました。会議では、生協と

行政の地域政策について事例報告の中から学ぶ趣旨で、生協の地域貢献活動を理解していただくために日本生協連福祉事業推進部から「生協



2日目は道庁赤レンガで開催された「行政・生協連絡会議」

の福祉活動～くらしの助け合い活動を中心に」として全国事例の報告、行政の地域政策では「道州制の実現に向けて」北海道から報告。事例報告はいずれも興味深いテーマで良かったとの評価でした。情報交換では各県から「地方消費者行政活性化計画～消費者行政活性化オリジナル事業」が報告されました。これに関して、消費者行政テーマはこのままにせずに行政・生協のシンポなどで深めたいとの希望や道の消費者行政一本化の組織改組の考え方への質問がだされました。

## ユニセフ活動交流会を開催しました

当会では生協全体でユニセフ活動への取り組みを高める目的で、今年度第1回目のユニセフ活動交流会を10月2日に開催しました。活動は今年をスタートに今後3年程度で全道の取り組みに持っていこうとするもので、第1回の交流会には、コープさっぽろ2名、住宅生協1名、医療生協2名、大学連合地域センター1名の6名が参加しました。

交流会は（財）ユニセフ協会北海道支部・重原事務局長から「ユニセフ活動と歴史」の講義をしてもらって理解を深め、次いで北海道支部活動15年目の今年に活動のレベルアップを目指すコープさっぽろから取組み計

画を学びました。

今後、参加生協では取組み方法を検討し、出来るところからスタートすることになります。また、何故ユニセフなのか？との意見もあり、職員学習の材料を提供することも必要です。



10月2日、ユニセフ活動の学習と取組みを交流しました

## UNIV. COOPビジネスセミナーの取り組み ～学生の就業観を育む実践型インターンシップ～

近年、新卒採用者の離職率の高さがマスコミ等でも取り上げられています。大学生協北海道事業連合では、いわゆる「採用ミスマッチ」は学生の就業観の薄さの一つの要因と考えました。それを補うものとして大学生協をフィールドとした実践型インターンシップ『UNIV. COOPビジネスセミナー』の企画・運営を開始しました。

2005年からスタートし今年で5期目です。これまで北大、小樽商大、北星学園、札幌学院大、酪農学園の学生94名が参加。6ヶ月に及ぶプログラムでは、大学生協



店舗営業の様子(札幌教育大学生協にて)

で販売するおにぎり、パン、スイーツの開発(PB商品)を題材に、参加学生がマーケティングリサーチから商品企画、店舗営業まで一連のビジネ

スプロセスを実践します。全18回のプログラムの他に、工場見学等のフィールドワーク、マナー講習も行います。

開発商品は道内の大学生協29店舗で1ヶ月限定販売し、30アイテムを投入してきました。そのうち特に好評だった5アイテムが定番商品化されています。商品製造は、コープさっぽろ様、日糧製パン様、札幌パリ様にご協力頂いています。

一般的なインターンシップとは違い参加費32,000円の有料プログラムですが、参加した学生さんからは「社会を意識するきっかけとなった」などの評価を頂き、年々参加者が増えています。



今年の開発商品5アイテム(豚キムチーズ、サーモンマヨ寿司、大ちゃんのとろろたまごバーガー、10の根彩☆ベジサンド、りんごとなしのかさねパバロア)

### コープさっぽろ

## コープさっぽろ社会福祉基金の 創立20周年記念事業が行われました

当基金は1989年財団法人として認可され発足し、今年で20周年を迎えました。20周年記念事業として福祉講演会と冊子を作成しました。

講演会は10月17日札幌サンプラザにて、講師に北星大学の杉岡直人先生をお迎えし「これからの地域の支えあいを考える」の表題で講演をいただきました。

引き続き、役員の方々をはじめ関係者の参加も頂き、終始なごやかに祝賀会を開催しました。当基金の福地理事長の挨拶では前日(10/16)に新「公益財団法人」の認可を取得し2重の喜びであるとともに、その責任

の重さも感じると話されました。続いてコープさっぽろの大見理事長の祝辞では基金の事業を大いに評価され、「さらに

大きく育つように応援していきたい」という心強いお言葉をいただきました。



講演をする北星大学・杉岡直人先生

### さっぽろ高齢者福祉生協

## 高齢者福祉生協主催で 「高齢者の住まい」セミナーを行なっています

10月20日、熱心に聞き入る道医療生協の組合員さん



のメンバー約40名です。高齢者福祉生協の小松徹人専務が講師を務め、高齢者の住まいの種類やホーム選びのポイントなどパワーポイントを使い丁寧に1時間程説明しました。安心して住める場所を選ぶにはお元気な内に知識を得、施設見学しておくことが大切とのアドバイスがありました。参加者の中には、不安を抱えている1人暮らしの高齢者もあり、もっと詳しく聞きたい、施設見学を申込みたい等の声が出ていました。

提供する目的で札幌市内を会場にすでに37回を越える講演会を重ねています。またご希望があれば町内会や老人クラブ等への出張訪問も行っています。10月20日、北海道医療生協のくらしの助け合いの会が学びあいの場『定例会』で「高齢者の施設や各種住宅事情のあれこれ」をテーマに企画しました。参加者は医療生協の毎週火曜日に実施している「おげんき会」

### 11月・12月期活動予定

- ・11月5日(木) 福祉事業活動交流会
- ・12月8日(火) 非常勤監事研修会
- ・12月21日(月) 第1回消費者問題連続学習会